

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	多様な価値と対話するボアジチ大学との交流事業				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	佐藤 真千子
	研究分担者	所属・職名	ボアジチ大学国際関係学部・准教授	氏名	ギョーン・クット
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	佐藤 真千子

講演題目	トルコ外交政策の優先課題：地域的問題とグローバルな問題
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究は協定校であるボアジチ大学との交流を通して本学及び地域社会のみなさんが多様な価値に触れて学ぶ機会の提供を目指しています。2023年度は国際政治学者であり外交史家でもあられるギョーン・クット先生（本学国際関係学研究科附属広域ヨーロッパ研究センター客員研究員、ボアジチ大学国際関係学部教員）に、トルコの外交政策について特別講義「トルコの外交政策の優先課題：地域的問題とグローバルな問題」(Turkey's Foreign Policy Priorities: Regional and Global Challenges)を実施していただきました。近隣地域の争いや不安定な情勢の影響を受けているトルコが外交政策で苦境に立たされている現状とその背景が描き出されました。トルコは歴史的に常に不安定な地域に囲まれています。トルコは地政学的断層地に位置しており、安全保障ではNATOに通商や金融ではEUに、エネルギーではロシアとイランに依存している国です。2023年5月の大統領選で勝利して長期政権が継続されることになりましたが、その翌月、トルコ政府が国家安全保障の優先課題として挙げたのは地域的危機のロシア・ウクライナ戦争、緊迫するコソボへのNATO軍増派、アルメニアとアゼルバイジャンの係争地を巡る対話、スーダン軍事衝突であり、そこに対米関係、対EU関係、対中東関係が含まれていない懸念が指摘されました。また、トルコ国内ではPKK(クルド労働者党)、FETO(ギョレン派)、DAESH(イスラム国)のテロとの戦い、シリア難民の帰還問題を抱えています。このような緊迫する国内外の諸課題への対応を迫られているトルコ情勢について学び、学生とクット先生が英語で意見交換をする貴重な機会となりました。今後もボアジチ大学の様々な専門分野の先生方から学ぶ機会を提供していきます。</p>
	 